

秋田を学ぶ・秋田ふるさと講座

『あきたの昔ばなし』

聞いたことある!?

～ 笑い話や

しつけ話 ～



講演スケジュール



令和5年7月29日(土)

10:30～12:00(受付:10:00～)

北部市民サービスセンターにて

開催!!

見たい人、聞きたい人は

◇対象

子どもから一般の方

～ご家族どうぞ!～

◇申込締切

開催予定日の一週間前の土曜日まで
締切以降はお問い合わせください。

◇資料代: 一人100円

申込・問い合わせ先

地域マイスター やどめ 事務局

TEL: 090-2990-8569

※不通の際は、当団体スタッフの個人電話の連絡
をお待ち頂くか、お時間を空けてお掛け直してください。

HP:

<http://akitacitytiikimaisutayadome.web.fc2.com>

下記QRコードからもお申し込みOK!



聞かせてえな～
見せてえな～
おもしろ～



参加される方は、事前の申し込みをお願いいたします。
会場内では、検温とマスクの着用の協力をお願いします。

今後の開催予定

ウラ面へ→

今年度の今後の講座スケジュール

年 月 日	場 所
令和5年9月30日	河辺市民サービスセンター（予定）
令和5年11月25日	中央市民サービスセンター（予定）

講座では、こんなお話が聞けるよ！

掲載しているお話は、あくまでも一例となっております。

講座では、違うお話も沢山聞けますよー！

『三枚のお札』のあらすじ

ある山寺のやんちゃな小僧が、和尚さんをお願いして
山へ栗拾いに行かせて貰うこととなった。
和尚さんは、山姥が出たら使うようにとお札を三枚出
して小僧に渡す。小僧は山で栗拾いに夢中になって、す
っかり日が暮れてしまった。心細く思っているところへ、
一人のお婆さんが現れた。お婆さんは、小僧の拾った栗
を茹でてやるといい、家に呼んだ。
お婆さんが山姥だと気づいた小僧は小便がしたいと
言くと、山姥は逃げられないように縄をつけて便所に行か
せた。小僧は縄を解き、お札を自分の身代わりに返事を
するように命じて、便所の窓から逃げ出す。

それに気づき追いかける山姥に、二枚目のお札で大水
を出し、山姥を流そうとするも、山姥は大水を全部飲み
込んでしまった。三枚目のお札で今度は火の海を出す
が、山姥は先ほど飲み込んだ大水を吐き出して火を消し
てしまう。
ようやく小僧がお寺にたどり着いたときは、山姥はすぐ
近くまで追ってきていた。しかし和尚さんはなかなか戸を開
けてくれない。小僧はやつとのもので戸を開けてもらい、
部屋の中に隠れる。山姥がやってきて和尚さんに小僧を
どこにやったかと訪ねると、和尚は自分と技比べをして勝
ったら教えてやるといい、山姥を豆粒ほどの大きさにする
と餅でくるんで食べてしまった。